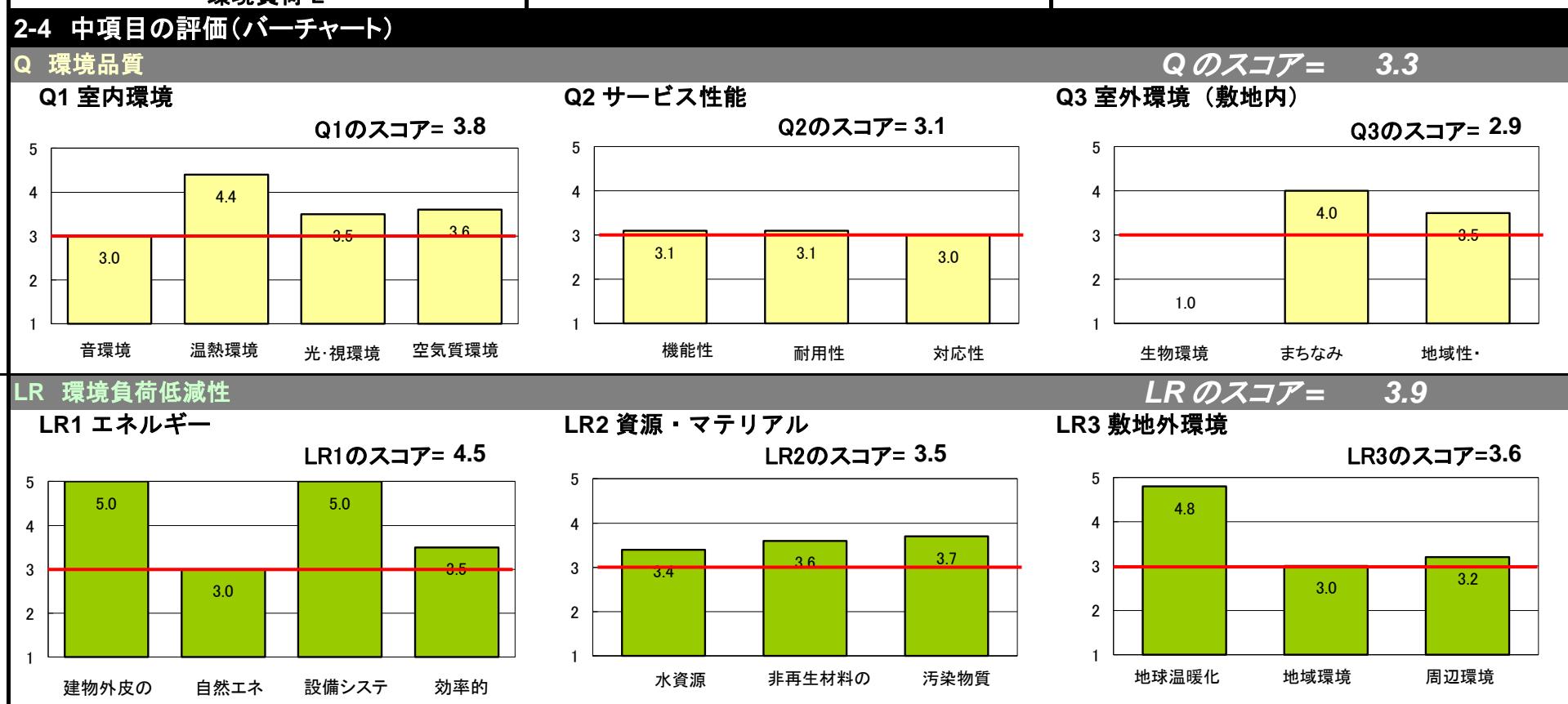
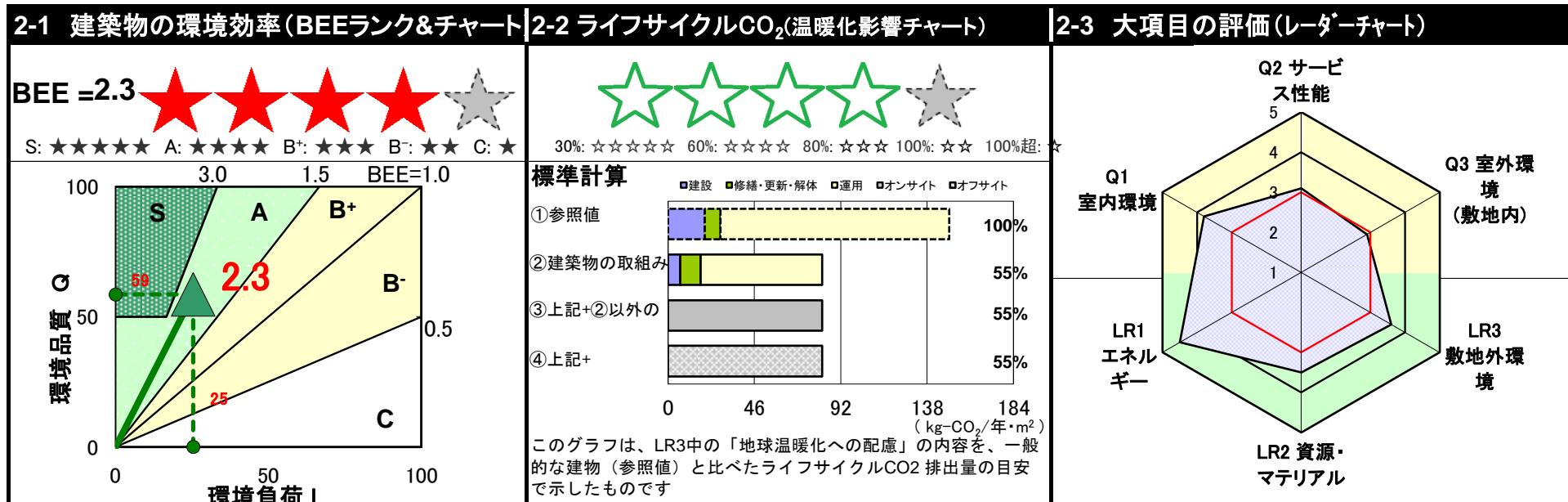


CASBEE® 広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島市中区舟入南3丁目計画	階数	地上14F
建設地	広島県広島市中区舟入南3丁目1番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第二種住居地域、準住居地域	平均居住人員	215 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2015年6月29日
敷地面積	1,859 m ²	作成者	夢工房建築設計室
建築面積	498 m ²	確認日	2015年6月30日
延床面積	5,648 m ²	確認者	夢工房建築設計室



3 広島市の重点項目		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 4.4	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 2.1	「長寿命化対策」の推進 スコア= 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 外皮性能を断熱等性能等級4とし、建物の熱負荷抑制に配慮している。/建物を一次エネルギー消費量等級4とし、省エネルギーに配慮している。/潜熱回収型給湯器・LED照明器具を採用し、設備の高効率化に配慮している。/エネルギー消費を表示できる機器を採用し、効率的運用に配慮している。/PS、天井内配管等により設備との錯綜を回避することで、部材の再利用の可能性を高めている。/LCCO ₂ の排出率を参考値より抑制している。	設計の計画上特段に配慮した事項 敷地内に中高木および緑地を設けることにより、良好な緑地環境に配慮している。/車両出入り口を東西に2か所設け、交通負荷抑制に配慮している。	設計の計画上特段に配慮した事項 躯体は劣化対策等級3相当とし、設備では耐用年数の長い配管材を採用することで建物の長寿命化に配慮している。/構造部材を痛めることなく更新できるように配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される